

NI Eワークシート小高～高校



イラスト・岩佐莉花

「親じゃと? わしはアトム親がわりになつてるわい!」そんなことわしは知らんよ。なにせ二千五百年も昔のことじゃもの。前者は手塚治虫さんの「鉄腕アトム」に登場する「お茶の水博士」、後者は村上春樹さんの「羊男のクリスマス」に出てくる「羊博士」の言葉だ。実社会で「わしは」「じゃ」と話す「博士」は存在しない。だがこんな言葉遣いの登場人物に出会うと「博士」と思ってしまう。不思議なことだ。このような特定の人物像を思い浮かべる特定の言葉遣いに対して「役割語」という新概念を提示したのが日本語学者・金水敏さんの「ヴァーチャル日本語 役割語の謎」(20

幼児期に刷り込み、時に偏見も

03年)だ。これにしてもこうして「わしは」「じゃ」で話す人物に「博士」をイメージするのはどうだろうか。幼児期に親が読み聞かせる昔話、子ども自身が読む絵本、漫画、読み物、アニメなどを通して役割語を獲得すると金水さんは考える。役割語は文化的ステレオタイプだが、その妥当性を批判的に検討できない時に獲得した役割語は幼い頃から刷り込みが繰り返されるので、強固に維持されるのだ。「わたくしが存じておりますわ」は「A」、「拙者が存じておる」は「B」、「わてが知つてるでえ」は「C」。役割語は日本語に満ちており、それを使って簡単に人物像を立ち上げることができる。今年死去した鳥山明さんの「Dr.スランプ」に「こんどひっこちてきた摘一家ある/よろちくね」「ひっこしソバあるね」と話す中国人一家が登場する。中国人一家との大変楽しい出会いだが、この中国人を思わせる役割語「ある(よ)」「のルーツをたどると」「戦前の、中国の人々に対する偏見に満ちたまなざし」とともに用いられていたこと「を金水さんは指摘。「役割語の使用の中に、偏見や差別が自然に忍び込んでくる一面に気づかなければならない」と言う。幼い頃から無自覚に獲得した言葉遣いに偏見や差別が潜んでいないか。役割語という概念の提起によって、それを自覚的に再検討できる。(共同通信編集委員・小山鉄郎)



左の記事を読んで下の問いに答えましょう。

1 役割語とはどんな言葉ですか。本文中から20字程度で抜き出しましょう。

Grid for writing the answer to question 1.

2 役割語はどのようにして獲得されますか。解答欄に合わせて本文中から適切な語句を抜き出して入れましょう。

Grid for writing the answer to question 2.

3 空欄 A～Cに入る語句を、次の中から選び、記号で書きましょう。

- ア使用人 ①お嬢様 ㉗お武家様 ㊤村の長老 ㊤関西人 ㊦宇宙人 ㊧九州の人 ㊨幼児

Grid for writing the answer to question 3.

4 役割語を使うときに、気を付けなければならないことは何ですか。本文中から漢字2文字で2つ抜き出しましょう。

Grid for writing the answer to question 4.



## NIEワークシートのこたえ（2024年8月9日公開）

### ◆ワークシート「役割語(国語)」 2024.8.8付 夕刊 3面 解答

- 1 特定の人物像を思い浮かばせる特定の言葉遣い
- 2 幼児 刷り込み
- 3 A① B② C③
- 4 偏見 差別 (順不同)